



# 豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第104号 R5. 11. 7

## 東ときわ台小学校の科学実験教室取材して ～職場体験学習で豊能町役場に来た東能勢中学生による執筆～

### 小学生の科学実験教室!! (東ときわ台小学校)

10月23日に東ときわ台小学校で、夢LABOさんによる「子供科学実験教室」という、専門的な実験を子どもがわかるように説明してくださる実験教室が開催されました。様々な実験が行われたので一つひとつ解説していきます。どれもとても興味深かったです。

#### 1「消化の仕組み」

炭水化物（デンプン）の消化の実験でした。ご飯にヨウ素溶液を数滴加え、色の変化を調べました。また、デンプンに大根おろしを加えるデンプンが分解して糖ができることがわかりました。



1. ご飯にヨウ素溶液を加える

#### 2「運動場から宝石を探そう」

東能勢小学校運動場の砂（花こう岩のつぶ）を観察し、分類して正体をさぐる！という内容でした。



2. 砂を分類している様子

#### 3「エネルギーの移り変わり」

この実験は、あるエネルギーを違うエネルギーに変える、という実験でした。例えばソーラーパネルです。それは、熱のエネルギーを電気のエネルギーに移りかえることで電力として使用することが出来ます。



3. エネルギーを変換する装置

#### 4「ビタミンCの量を調べよう」

この実験は、指示薬の色を消すには、どの程度の野菜やフルーツを絞った液を加えなければいけないのか、という実験です。柑橘類にビタミンCが多く含まれていますが、CCレモンが一番少ない量から多くのビタミンCがとれることがわかりました。



4. 指示薬を加えての実験

「取材を終えて」どの児童も、とても楽しく、かつ真面目に実験をしていて見ているこちらにも楽しくなるような実験教室でした。科学実験教室の先生方、東ときわ台小学校の皆さん、ありがとうございました。

## とよのを知ろう とよのを学ぼう ⑥ 「とよの未来科」の実践始まる

### 「お米を育てよう」(光風台小学校)

光風台小学校の5年生は、学習園でお米を育てています。お米を育てるには、たくさんの工程がありますが、全てに子どもたちが少しでもかかわるように活動しています。

田起こしと代かきは、地域のボランティアさんにお手伝いしていただき、レーキを使い、みんなで協力して土をなるべく平らにし、田植えの下準備をしました。

6月の田植え。たて、横25cmの間隔にしるしをつけたロープをもとに、みんなで並んで手で植えました。田んぼに入った時は、「足がぬけないー。」「転びそう！」と大さわぎでしたが、一つ、二つ、三つ・・・と植えていけばいくほど、コツをつかんで上手に植えることができました。ほとんどの子が『田植えは初めて』だったようです。

田植えから4か月弱がたち、とうとう収穫の日。すべての児童がかまを持ち、手作業で稲を刈っていきました。刈った稲は3～4束を束にして乾燥させるために干しました。今後は、脱穀をして、粳すりを体験しようと思っています。そして、自分たちで作った格別なお米をみんなで食べたいと思います。



### 豊能町人権教育研究会 公開授業～吉川中学校～

10月26日に吉川中学校にて、教員の人権教育研究団体である豊能町人権教育研究会主催の公開授業が開催されました。いずれも目の前の相手への思いやりを意識した授業でした。自分の考えや思いを「伝える力」や相手を思いやって「関わる力」を身につけて行ってもらいたいです。

学年	テーマ	授業内容
1年	防災と人権	みんなでわけよう
2年	キャリア学習～「働くこと」について学び、考える～	企業に関するアンケート調査結果の発表
3年	保育体験から「気持ち」を伝えあい、人とつながる	絵本の読み聞かせ



1年生：物資を分配するための協議

2年生：アンケート調査の結果発表

3年生：絵本の読み聞かせ練習